



第
47
号

発行日：2019年4月1日
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)
 住所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津4階
 電話：077(526)7545 / FAX：077(526)7581
 フォーラムHP：http://eco-otsu.net
 Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net

＜事務局長から＞ 万物が躍動する季節を迎えました。3月20日、環境政策課課長須佐美様より「大津市地球温暖化防止活動推進センター」の指定証を受領いたしました。2期目の2019年度事業がいよいよ始動いたします。気持ちも新たに会員の皆様とともに実りある活動実践に取り組んでまいりたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

会員数 158名 (2019年3月末現在)

トピックス

○「菜の花まつり ～菜の花を食べよう～」を開催しました

3月2日、好天に恵まれた雄琴菜の花畑にて第15回「菜の花まつり」を開催しました。定員の倍以上の応募があったため抽選となり、当選された13組23人が参加されました。

開会挨拶と説明の後、まず廃食油を使ったキャンドルづくりの見学です。凝固剤と着色用クレヨン、温めた廃食油に溶かしてタコ糸を入れた竹筒に注ぎ、冷めれば完成。固まるまでの間、参加者たちはポリ袋を持って菜の花のつぼみ摘みに畑へ。夕食用に持ち帰ります。次は、スタッフが菜種油で揚げた菜の花の天ぷらと菜の花の酢味噌和えを各自持参のおにぎりで試食。廃食油からエネルギーをつくる循環型社会の紙芝居もありました。きれいに咲いた菜の花に囲まれ、美味しくするための催しでした。



○SDGs研究会「SDGsで持続可能な事業・活動を目指そう!」を開催しました

3月13日、コラボしが21にてSDGs研究会「SDGsで、持続可能な事業・活動を目指そう! ～誰一人取り残さない社会をつくるために～」を開催し、32人が参加されました。

最初は、大津市政策調整部企画調整課主査 中谷祐士氏(写真①)の講演「大津市のSDGsの取組」です。大津市では、大津市SDGs推進会議で、大津市総合計画2017実行計画をSDGsと関連付けて推進するとし、市民や団体と連携、周知、啓発の取り組みを進め、市職員に対しては階層別の教育で意識向上を図っています。大津市総合計画2017は国や県のSDGs採択を受けて策定したわけではありませんが密接に関連しているため、呼応して推進していることを明確にしています。大津市広報のSDGsアイコン表示もその一環です。

次は、ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞された滋賀銀行の取り組み紹介が滋賀銀行総合企画部広報室長兼CSR室長 嶋崎良伸氏(②)からありました。滋賀銀行では、エコオフィスづくりや環境ボランティアへの積極参加にとどまらず「環境金融」に力を入れています。企業は財務資本や人的資本、知的資本に加え自然資本や社会資本に着目しなければ生き残れない。滋賀銀行はこの観点からSDGsを推進する企業を金融面から支援しています。講演ではその具体例がいくつか紹介されました。これらの経営姿勢がSDGsアワード受賞につながったのです。

最後にKES登録事業所の株式会社ヨシダヤ社長 吉田近博氏(③)からSDGsに取り組む決意表明がありました。SDGsの概念を社是に取り込み、研修会実施やSDGsロゴ入り名刺等で社内外の啓発に努められています。



○「大津市地球温暖化防止活動推進センター」の指定証を受領しました

おおつ環境フォーラムは、大津市地球温暖化防止活動推進センター(大津市センター)指定団体に第2期(2022年度末まで)も引き続き指定され、3月20日、指定証の交付を受けました。これまで同様、大津市センターとして、加速しつつある地球温暖化を防止するために市民や事業者の皆さんと協働してさまざまな講座やイベント、ワークショップなどを開催し、環境保護や再生可能エネルギーの普及、啓発に取り組めます。



○「地球温暖化防止対策事例集～機器編～」を発行



昨年度の「住宅編」に引き続き、地球温暖化防止対策事例集第2弾「機器編」を発行しました。機器編では、生活のさまざまな場面で発生するCO₂の排出量を削減するために「機器の選び方、使い方」についての有用な情報や効率のよい機器の導入事例を紹介しています。

大津市地球温暖化防止活動推進センターやおおつ環境フォーラムが行う講座などでこの冊子を使用し、一歩踏み込んだ地球温暖化防止対策が市民の間で定着する一助になればと願っています。

本書を作成するにあたり、多くの団体、企業、市民やフォーラム会員から資料や対策事例をいただきました。御礼を申し上げます。この冊子をご希望の方は、大津市センターまでご連絡ください。

「地球温暖化防止対策事例集～機器編～」の内容

- 第1章 温暖化防止対策の考え方
 - 第2章 機器の選び方、使い方による温暖化防止対策
 - 1. CO₂排出量と機器の選び方、使い方
 - 2. 給湯システムの選び方、使い方
 - 3. 暖房システムの選び方、使い方
 - 4. 冷房システムの選び方、使い方
 - 5. 冷蔵庫の選び方、使い方
 - 6. 照明器具の選び方、使い方
 - 7. テレビの選び方、使い方
 - 8. キッチンシステムの選び方、使い方
 - 9. 自動車の選び方、使い方
 - 10. 温水洗浄便座、洗濯機、衣類乾燥機の選び方、使い方
 - 第3章 高効率機器の導入、取り換えの事例
 - 1. エコキュートの導入事例
 - 2. LED照明の導入事例
- 付録「住宅編補遺」
- 1. 自然の恵みを活かした手作りエコリフォーム事例紹介
 - 2. ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）住宅事例紹介
- あとがき

■プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《子どもが遊べる川づくりプロジェクト》

3月15日、大宮川の水生生物調査を実施しました。午前中は上・中流の水生生物を採集し、午後からは坂本公民館にて同定作業を行いました。春から秋にかけて羽化する多種類の水生昆虫が見られ、時間を忘れて作業しました。今回で大宮川の調査を終え、今までの結果と合わせ「大宮川生きものマップ」にまとめます。

《生ごみリサイクルプロジェクト》

3月20日まで市民農園入園申込を受け付けました。稲津4丁目の空き4区画については引き続き入園者募集中です。（埋まり次第終了）申し込みは電話でおおつ環境フォーラム事務所まで。

《ビオトープづくりプロジェクト》

3月24日、春日山ビオトープで活動しました。ヤマアカガエルのオタマジャクシとメダカを多数確認しました。ショウブの地下茎が池を狭めていたので掘り返



し、約12m²の水面を復活させました。エコフェスタでの実施イベントの変更についても話し合いました。

《おおつエコフェスタ実行チーム》

2019年度の実施概要案を打ち合わせ、市の承認が得られ次第出展団体を募集します。安全上、以前よりもブース数を減らして会場の混雑度を軽減します。

里湖づくり 水辺の再生ボランティア募集

琵琶湖環境科学研究センター（大津市柳が崎）付近の湖辺域で、水草刈り取り及び除去、湖辺の耕耘・調査、アンケートにご協力いただける方を募集します。

期間：2019年4月から月1～2回 9:30～12:00
ご参加は年1回だけでも結構です。交通費支給

募集：18歳以上の人 各回20人程度

申込：住所、氏名、年齢、性別を おおつ環境フォーラム事務所までお知らせください。随時受付。

☎ 077 (526) 7545 ✉ forum@eco-otsu.net

■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト		
子どもが遊べる川づくり	4月16日(火) 13:30	大津市センター//会議
生ごみリサイクル	4月19日(金) 9:30	市民活動センター//ボカシづくり
ビオトープづくり	4月14日(日) 9:00	北大路どろんこことぶ//生きもの調査、補修整備
里山保全	4月1日(月) 10:00	春日山公園//定例会
	4月15日(月) 10:00	春日山公園//定例会
	5月7日(火) 10:00	春日山公園//定例会
エネルギー	4月2日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	5月7日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム・事業部		
おおつエコフェスタ実行チーム	4月24日(水) 15:30	大津市センター//会議
おおつ市民環境塾実行チーム	4月2日(火) 13:30	大津市センター//会議
里湖づくり事業実行チーム	4月8日(月) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター//調査活動
	4月16日(火) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター、湖岸//湖底耕耘
事業部 KES 普及推進グループ	4月18日(木) 13:30	ふれあいプラザ//普及推進グループ定例会議

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）